

第5章 実施委員会

1 概要

(1) 実施委員会の目的

実施委員会(以下、本委員会)は、観光人材育成プラットフォーム構築事業に係る事業の全体的な仕組みや運営状況を確認するために設置され、委員長1名、委員5名、計6名の有識者等で構成した。

本委員会は、年度内に2回にわたって実施され、第1回目は前年度事業全体の説明及び成果報告(3メニュー)と、今年度事業のスキーム、内容説明を行った。

また、第2回目の委員会は今年度実施したすべての事業実績や事業課題を報告し、次年度への提言をまとめた。

2 実施結果

(1) 第1回実施委員会

前年度事業全体の説明(3メニュー)と今年度事業のスキーム、内容説明があり、質疑応答や意見交換が行われた。

- ・日時:平成29年5月9日(火) 10:30~12:00
- ・場所:沖縄産業支援センター2階 203号室



ア 派遣講師活用支援

<委員からの提案>

- ①助成がなくても自走化していくことを見据えて、8割助成から6割助成にするなど助成額を減らしていくことを検討してみてもどうか。
- ②効果的に学びの場を広げる為に、育人(はぐんちゅ)サイトに登録している派遣講師が薦める図書の紹介をしたらどうか。

<提案に対して>

- ①全額助成から8割助成にしたことで申請数が減ったこともあり、今年度はそのまま8割助成で進めるが、今後の自走化に向けても助成額を減額することも検討していく。
- ②育人(はぐんちゅ)サイトの講師紹介ページに、講師の推奨する書籍を掲載する方向で検討する。

イ 集合型研修

<委員からの提案>

中核人材として5~10年の方に研修しているようだが、それ以上に経営者層に考えてもらう、あるいは、スキルアップしてもらう研修を行うことも必要。

「現在の観光の好調が現場の満足度に繋がっている」、「給与制度が改善されている」、「文化教養を身に付けることができる」、「スキルアップして収益力向上につなげた人を評価する仕組みがある」、「経営者層にカリスマ性がある」など、そういった魅力ある職場を作り出していくのは、経営者層に求められる資質だと思う。

<提案に対して>

国等の動向を注視しながら、経営者層向けセミナーの実施を検討する。

【参考】平成29年度沖縄型産業中核人材育成事業(内閣府)

ウ 語学人材の確保の支援

<委員からの提案>

ある宿泊施設の社長から、採用した4、50名の外国人の年休行使率が100%、離職率が10%以下となっていると聞いた。自社で人材育成の取組を行っており、従業員の満足度が高いためということであった。そういった採用事例を紹介してはどうか。

<提案に対して>

観光関連事業者に向けて外国人雇用セミナーを実施し、その中で採用事例について紹介することを検討する。

(2) 第2回実施委員会

それぞれの事業の今年度実績(派遣講師活用支援、集合型研修、語学人材確保の支援)について報告した後、後継事業について提案・意見交換を行った。

- ・日時:平成30年3月15日(木) 13:00~14:30
- ・場所:沖縄産業支援センター2階 203会議室



ア 派遣講師活用支援

<委員からの質問>

- Q1. 前年度と比べて、業種別で見た研修件数が、「小売」「流通・交通」が増加し、「宿泊施設」「観光協会、商工会」が減少している理由は？ 今年度は、「宿泊施設」「観光協会、商工会」への周知が行き届き一巡したため減少し、今まで周知の届いていなかった「小売」「流通・交通」が増えたと考えてよいか。
- A1. 「宿泊施設」は人材不足が深刻で、こういった研修に参加する時間もないと聞いている。現在、新しく建設中のホテル等もあるので、今後のニーズは増えていくと考えている。
- Q1. 講師の登録は増えたが、稼働状況について教えてほしい。
- A1. 講師については160名登録されているが、実際に本メニューで利用されたのは45名。あまり活用されない講師もいる。事業説明会やマッチング商談会を開催して講師と企業との接点を設けるようにしているが、各講師の営業力によって違いが出てしまう。

<委員から次年度への提案>

- ①登録する講師をどのように選定するか、今までの基準を再度見直すことも必要。
- ②事業を継続して行うことで講師の情報や評価が蓄積されると思うので、講師を利用する企業側がその情報や評価を活用できるようにしていくとよいと思う。

イ 集合型研修事業

<委員から次年度への提案>

研修内容や講師に対する評価や要望は、研修の参加者からだけでなく、参加者が所属する企業・団体からの意見を聞くことも必要。

ウ 語学人材確保支援

<委員から次年度への提案>

就職相談会を通して採用された人材の追跡調査ができるとよい。

第6章 観光人材育成センター

1 観光人材育成センターの役割

(1) 研修実施のサポート

観光人材育成センターでは、企業研修を支援するにあたり、これまでの事業経験を踏まえたうえで、研修の申請から実施報告に至るまでのアドバイスやサポートを行った。

ア 事業説明会の開催

沖縄本島南部・中北部にて事業説明会を開催した。主に派遣講師活用支援事業を活用した研修への支援内容や事務局によるサポート体制、申請の手順等を説明し、質疑応答を行った。また説明会終了後は企業と講師のマッチング商談会を実施した。

(ア)本島南部地域

・日時：平成 29 年 5 月 18 日(木)14:00～17:00

・場所：沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 6F

シェルホール

・事業説明会参加者：

(観光関連企業・団体)44 社 51 名

(人材育成講師・語学学校等)20 社 27 名

・マッチング商談会参加者：

(観光関連企業・団体)14 社

(人材育成講師・語学学校等)20 社



南部：事業説明会の様子

(イ)本島中北部地域

・日時：平成 29 年 5 月 19 日(金)14:00～17:00

・場所：ルネッサンスリゾートオキナワ 2F 首里天

・事業説明会参加者：

(観光関連企業・団体)24 社 30 名

(人材育成講師・語学学校等)20 社 30 名

・マッチング商談会参加者：

(観光関連企業・団体)16 社

(人材育成講師・語学学校等)20 社



中北部：マッチング商談会の様子

イ WEB の活用

前年度と同様に、沖縄観光人材マッチングサイト「育人(はぐんちゅ)」に講師データベースを用意し、企業の要望に応じた講師の選定をやすくしている。今年度は、講師情報に実際の研修事例や講師のコメント等を加え、さらに情報を充実させた。

また、本事業を広く周知するため、OCVB のホームページ、観光人材育成センターの WEB ページ、沖縄インバウンドネット等にも情報を公開し、事業を活用した研修実施を案内した。



ウ 個別ヒアリング及びアドバイス

書類作成のサポートとして、提出書類すべてにおける不備チェックを行い、申請～報告までの作業がスムーズに進捗するよう個別にヒアリング及びアドバイスを行った。